

【国語】作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」，及びそれらと出題形式との関係についてのイメージ（素案）

検討中

※ 試行調査の検証・分析の結果及び高等学校学習指導要領の見直しの内容等を踏まえ、更に整理する。

※ 作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」と出題形式との関係は、例として挙げているものであり、問い方や場面等によっては別の出題形式等で問う可能性もあり得る。

※ ここでの「文章等」には、文章のほかに、図表などを含む。

※ 「話すこと・聞くこと」の領域を意識した問題の設定を取り入れる可能性もあり得る。

	<読むこと> 【構造と内容の把握】（叙述に基づいて、文章の構造や内容を把握すること） 【精査・解釈】（構成や叙述などに基づいて、文章の内容や形式について、精査・解釈すること）	<読むこと> 【考えの形成】（文章を読んで理解したことなどに基づいて、自分の考えを形成すること）	<書くこと> 【題材の設定】【情報の収集】【内容の検討】（目的や意図に応じて題材を決め、情報を収集・整理し、伝えたいことを明確にすること）	<書くこと> 【構成の検討】（文章の構成を検討すること） 【考えの形成】【記述】（自分の考えを明確にし、記述の仕方を工夫すること） 【推敲】（読み手の立場に立ち、自分が書いた文章についてとらえ直し、分かりやすい文章にすること）
大学「入学共通テストにおいて問いたい思考力・判断力・表現力」	①文章等の部分を把握、精査・解釈して解答する問題 選択式／記述式	文章等の部分に書かれていること（構造や内容）を把握、精査・解釈することができる (例) ○文章等における語句の意味や比喻等の内容を適切にとらえることができる ○文章等における文や段落の内容を、接続の関係を踏まえて解釈することができる ○文章等の特定の場面における人物、情景、心情などを解釈することができる		
	②文章等の全体を把握、精査・解釈して解答する問題 選択式／記述式	文章等の全体に書かれていること（構造や内容）を把握、精査・解釈することができる (例) ○文章等の全体における書き手の考えとその根拠をとらえることができる ○目的等に応じて情報をとらえ、文章等の全体の要旨を把握することができる ○文章等の全体における人物相互の関係の変容や心情の変化を適切にとらえたり、言動の意味を解釈したりすることができる ○文章等の全体を通じて対比されている事項について考察し、共通点や相違点を整理することができる ○文章等の全体の構成や展開、表現の仕方等を評価することができる		
	③文章等の精査・解釈に基づく考えを解答する問題 選択式／記述式	文章等に書かれていること（構造や内容）を把握した上で、文章等の全体から精査・解釈し、それに基づき考えを形成することができる (例) ○文章等を踏まえ、推論による情報の補足や、既有知識や経験による情報の整理を行って、文章等に対する考えを説明することができる ○文章等を踏まえ、条件として示された目的等に応じて、必要な情報を比較したり関連付けたりして、文章等に対する考えを説明することができる ○文章等に含まれている情報を統合したり構造化したりして、内容を総合的に解釈し、文章等に対する考えを説明することができる		
(参考)	④文章等の精査・解釈を踏まえて発展させた自分の考えを解答する問題 自由記述式／小論文	文章等に書かれていること（構造や内容）を把握した上で、文章等の全体から精査・解釈し、それを踏まえながら発展的に自分の考えを形成することができる (例) ○文章等における書き手の考えを踏まえた上で、文章等に示されたテーマについて自分の考えを論じることができる ○文章等に示されたテーマについて、仮説を立てたり、既有知識や経験を具体的に挙げたりしながら、自分の考えを論じることができる ○文章等と自分自身との関わりを考え、自分自身の問題として論じることができる		